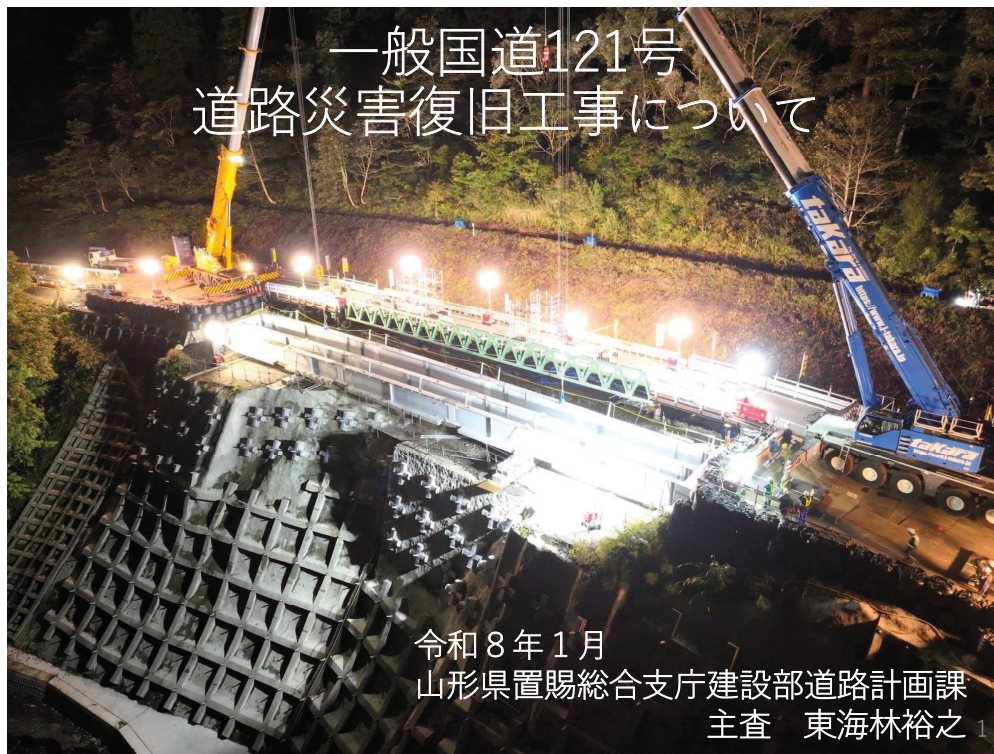


一般国道121号 道路災害復旧工事について



令和8年1月
山形県置賜総合支庁建設部道路計画課
主査 東海林裕之

被災概要（気象状況）

- ①令和4年6月27日午前1時の降り始めから、同午後8時まで143mmを記録
- ②令和4年8月3日午前8時の降り始めから、4日午前2時まで178mmを記録

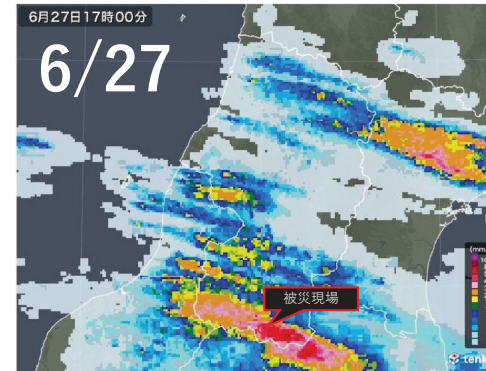


図1-1 山形県の雨雲レーダー(6月27日7時) 出典:https://tenki.jp/

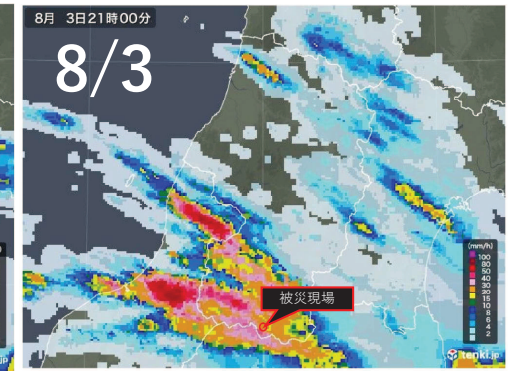
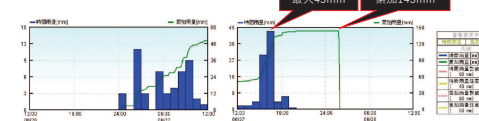
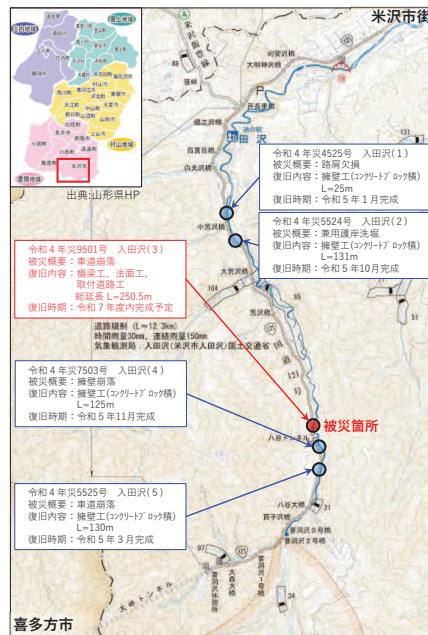


図2-1 山形県の雨雲レーダー(8月3日21時) 出典:https://tenki.jp/

■降雨量データ（入田沢観測所）



被災概要（一般国道121号の被災状況）



路線名：一般国道121号(大峠道路)
箇所：米沢市入田沢(いりたざわ)地内
被災原因：令和4年8月3～4日の豪雨
現道幅員：6.5(8.5) [10.5] m
交通量：1,957台/12h (H27センサ)



2

被災概要（6月末の状況から被害拡大）

【被災後の状況】



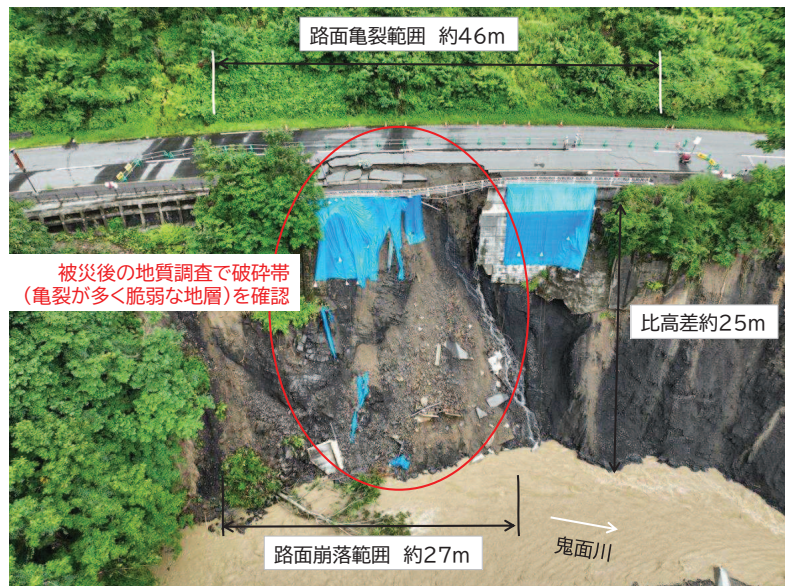
■被害拡大

- ①路面崩落
- ②喜多方側斜面崩壊
- ③擁壁部斜面崩壊
- ④斜面基部の洗堀拡大
- ⑤米沢側斜面崩壊

4

被災概要（令和4年8月4日撮影）

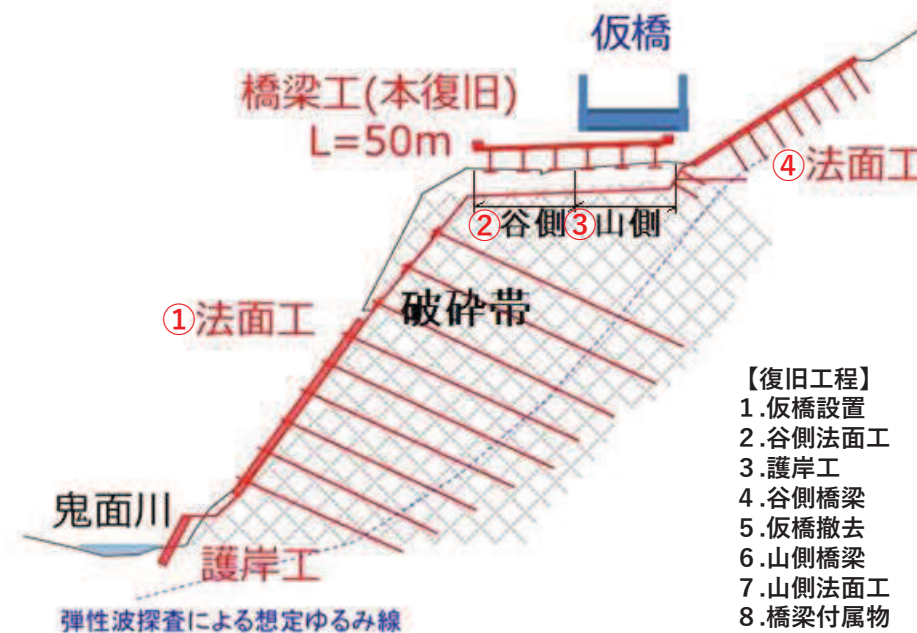
至
喜多方市



至
米沢市街

5

復旧概要



7

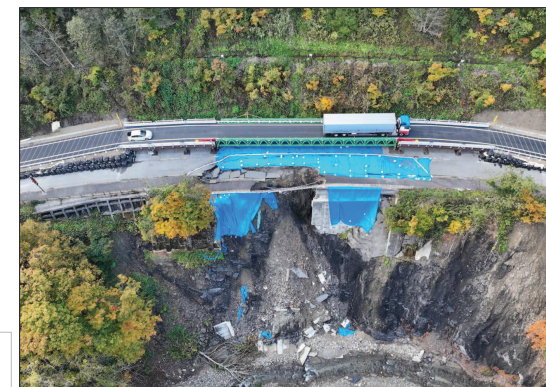
復旧概要

令和4年8月8日には、国土技術政策総合研究所、土木研究所、東北地方整備局の専門家が現地入りし、技術的支援を受けた



6

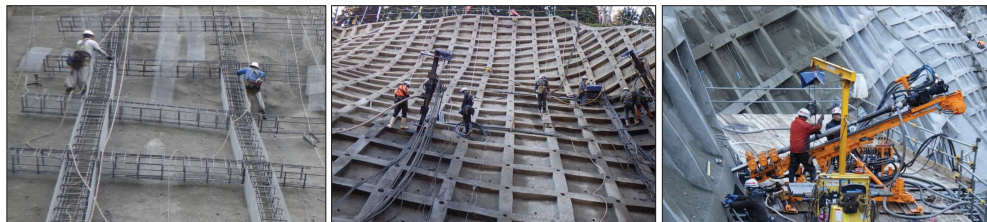
応急復旧工事（仮橋 国土交通省へ権限代行）



令和4年10月24日
仮橋が完成し片側交互通行開始

8

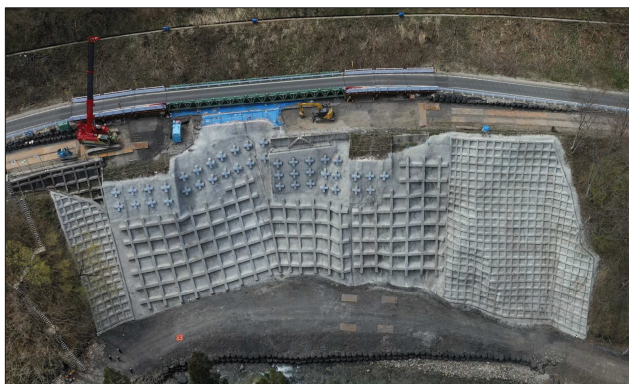
本復旧工事（谷側法面工）



- 中央部
破砕帯を含む
土塊の崩落を防止する法枠
・500型 (3,000×3,000)
・アンカーN=172本
・受圧板 N= 42基

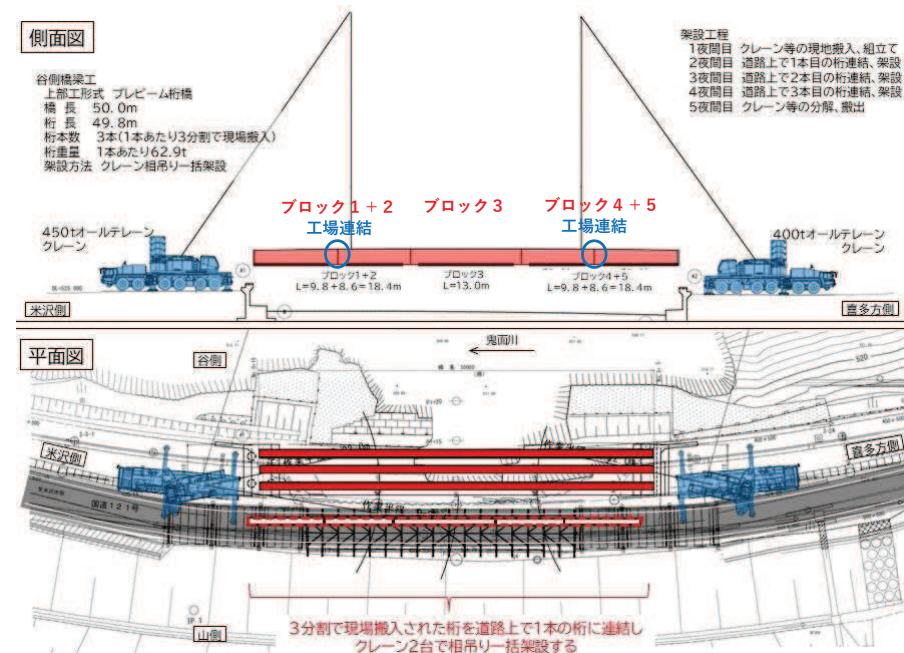
- 両端
斜面の風化浸食防止のための
法枠
・300型 (1,500×1,500)
・鉄筋挿入(約4m)N=489本

令和6年5月
法面対策工、アンカー工完成



9

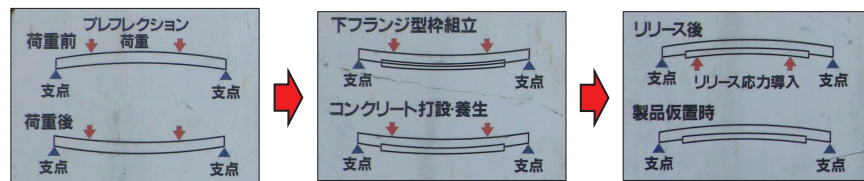
本復旧工事（谷側橋梁 桁架設計画）



11

本復旧工事（谷側橋梁）

- ・プレベーム桁の採用（鋼とコンクリートを組み合わせた合成桁）
- ・桁高を低く抑えられ、橋長（支間長）を長くできるメリット
- ・約50mの支間長は、プレベーム方式で対応できる最大級の長さ



10

本復旧工事（夜間全面通行止めの対応）

- ・チラシ回覧の手配。
(米沢市内3,800隣組、喜多方市内2,500隣組)
- ・関係機関へチラシ送付。120機関程度。
(国市町村、各商工観光協会、道の駅、PA&SA)
- ・米沢市・喜多方市の市報に掲載。
- ・米沢市・喜多方市の警察署・消防署に周知。
(物理的に救急車両が橋を渡れないため。)
- ・米沢市内の私立高校に説明。
喜多方市内からバス通学する学生への配慮。
運転手には通行止め前に喜多方市内に移動し
宿泊してもらった。
- ・衛星インターネットシステムを活用し情報共有。
LINEで進捗状況の報告、カメラ映像による把握。
- ・5日目作業終了後の早朝に全日程完了のFAX。



121 国道 121 号

夜間全面通行止めのお知らせ

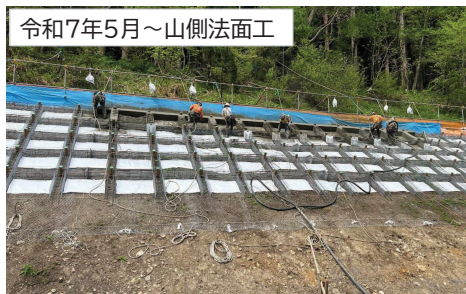
国道121号において、令和4年8月豪雨で被災した箇所の復旧工事に伴い、夜間全面通行止めを行います。ご理解とご協力をお願いします。

規制場所	山形県米沢市大字入田沢 573-19 「道の駅 田沢」 から 福島県喜多方市熱塩加納町熱塩字平沢山内 1543-31 「大幹道路管理所」 まで
規制内容	夜間通行止め
規制期間	令和6年10月 7日(月) ~ 11日(金) 及び 予備日として 令和6年10月15日(火) ~ 18日(金) ※10月12日(土)、13日(日)、14日(月-祝)は規制を行いません。 ※気象状況等により変更となる場合があります。
規制時間	20時00分 から 翌朝 6時00分 まで
迂回路	国道 49 号→国道 115 号→国道 13 号 国道 459 号→県道米沢猪苗代線(西吾妻スカイバレー)、等 ※大型車通行規制

お問合せ先
山形県道路総合支庁 建設部 道路計画課 TEL.0238-26-6080
〒992-0012 山形県米沢市金池七丁目1-50

12

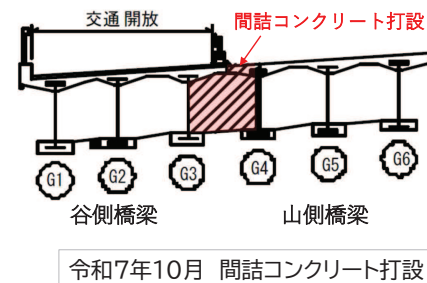
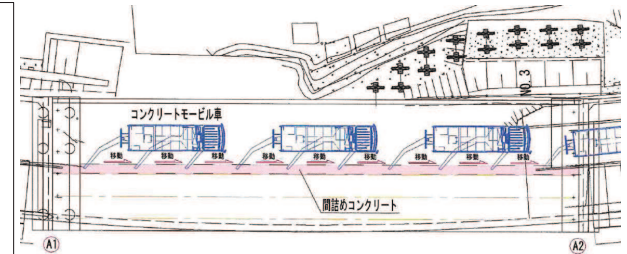
本復旧工事（谷側橋梁→山側橋梁・山側法面工）



13

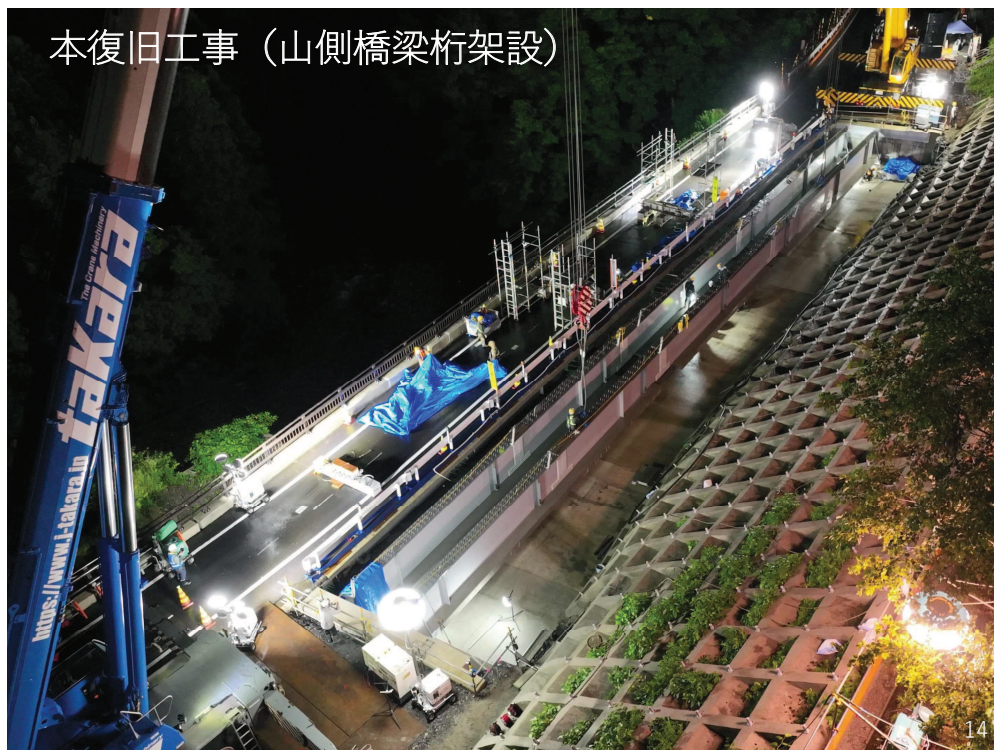
本復旧工事（谷側橋梁と山側橋梁の一体化）

- ・間詰コンクリートの硬化時に車両走行による橋の振動がひび割れの発生を懸念
- ・超速硬コンクリートを使用
- ・一晩で約24m3を打設
- ・一度の練り混ぜ量は約4m3
- ・練り混ぜと打設を6サイクル
- ・強度発現までは3時間、午前3時には打設完了が必須
- ・間詰部の鉄筋が密であり、作業が難航



15

本復旧工事（山側橋梁桁架設）



14

本復旧工事（完成に向けて）



- ・令和8年1月時点の進捗率 約98%以上
- ・現在施工中の工種
谷側車線の歩道、橋面防水、舗装、橋梁前後の土工部のすりつけ など
- ・橋梁名は「味清水橋（ましみずばし）」
- ・令和8年3月中に事業完了予定であり、竣工式を開催予定

16